

## 野鳥観察を 楽しむ!

## 子ども歳時記

日本には季節にちなんで行われる行事や風習が数多くあります。それぞれに理由や目的があり、人々の願いが込められています。

春になると野山や公園、街角の植物の葉、茎、花は水分が多くなりしなやかで若々しい香りがします。バードウォッチングを楽しみましょう! 5月10日から16日までは愛鳥週間です。アメリカのバードデーに見習ったものです。野鳥を観察して楽しみ、愛護するのが目的です。キジは日本の国鳥、コウノトリは兵庫県を代表する鳥です。ウグイスは「梅に鶯」と言われるように春の先駆けと言われます。双眼鏡を使って見ると、羽根の様子な

どの部分がはっきり見え新たな感動があります。21世紀の森、上坂部公園等でもカワセミ、キジバト、ゴイサギ、シメ、ヤマガラ等が集います。出会えるといいですね。庄下川付近ではカモメ類が見られます。

(お出かけの際の注意事項)

- ①マスクを着用する。
- ②暖かい服を着用する。
- ③水分を持参する。
- ④ラッシュ時を避けて少人数で行動する。
- ⑤群れて行動しない。
- ⑥有れば図鑑を持っていく。
- ⑦有れば双眼鏡を持っていく。

住環境コーディネーター  
引地 春美

# 子育て親育ちエッセンス

子育てサークル『やんちゃんこ』  
代表 濱田 英世

新しい命が宿り、子どもが生まれた瞬間。小さい体いっぱい泣く声が、世界で一番愛おしいと思ったあの日。もう、遠い遠い記憶になっているのでしょうか? 子どもは一日一日成長していき、毎日子どもと向き合っ、忙しい! 大変! な時間が流れているのですから、なかなか昔の思い出に浸っている時間なんてないものですね。

## ★ 我が子が生まれた「瞬間」 あの時の感情・想いを思い出して

以前、つどいの広場に、将来助産師になるために学んでいる看護学科の学生さんが実習にきました。その中の一人が「お母さん方は出産が終わってから、ずっと子育てが始まる。助産師を目指して妊婦さんの支えをすることが大切だと思っていましたが、あまり意味ないですね。」と声に出したのです。その学生さんは、出産を終えて退院してからの子育てのイメージはあまり持っていなかったのは確かのように感じました。授乳・おむつ替え・離乳食・反抗期等々の話をお母さん方から聞いて、驚いたのだと思います。

でも、私はすかさず言いました。10ヶ月かけてお母さんになっていくこと。不安いっぱい抱えて、ともすれば自分の命をかけて新しい命を生み出すということ。出産の瞬間ほど、一生のうちのどれだけ尊い感動かということ。助産師さんの仕事がどれだけ大切な仕事かということ。一生懸命伝えました。そして、鮮明に覚えている自分自身の三度の出産のエピソードを聞いてもらいました。話す私も聞いている学生さんも涙し

て。きっと今は、立派な助産師さんとして、小さい命のために頑張ってくれていることと思います。

ふと、その学生さんのことを思い出し、**日々子育てに奮闘されている皆さんにもぜひこの機会に、出産して初めて子どもに出会った時のことを思い出して欲しい**と思いました。

細い指、小さな体を抱きしめた時に願ったのは、ただただ元気で健やかに育ってほしい。そうではなかったでしょうか? 親として、そう願うことが全てです。忘れてしまっているけれど、あの時の気持ち、できれば時おり思い出し、そして愛おしい我が子を見てあげて欲しいのです。**できることもできないこともある。得意なこと、不得意なこともある。それでも元気でいてくれれば! にこにこ楽しく過ごしていてくれれば! それに勝るものはないはず**です。

4月を迎え、保育園や幼稚園、小学校など新しいスタートに進む子どもたちもいます。元気でその子らしく通えていれば、それで満点。いろいろな経験はそれから子どもたち自身が学んでいくことなのでしょう。嬉しいことも、つらいことも、心で感じて成長していくものです。**親としての役目は、他人と比べたり、おりこうさんでいるようにプレッシャーをかけることではなく、心身共に健やかに、そしてその子らしく育っていくことをきちんと見守っていつてあげる**ことではないでしょうか。

親も子ども新しいステージが、ずうっとワクワク・キラキラしたものでありますように。